

「敵基地攻撃」の大軍拡で 京都の基地はどうなる

京都平和委員会理事長 片岡明



- 3.5: [乙平ニュース\(no.412\)](#)
- 2.27: [乙平ニュース\(no.411\)](#)
- 2.21: [平新京都版\(2/25\)](#)
- 2.16: [乙平ニュース\(no.410\)](#)
- 2.7: [乙平ニュース\(no.409\)](#)
- 2.4: [平新北・上京区版\(第8号\)](#)
- 1.27: [乙平ニュース\(no.408\)](#)
- 1.24: [平新京都版\(1/25\)](#)
- 1.9: [平新北・上京区版\(第7号\)](#)
- 1.6: [乙平ニュース\(no.407\)](#)
- 12.31: [新年のご挨拶](#)
- 12.27: [第2回常任理事会](#)
- 12.23: [京都版合併号\(12/25\)](#)
- 12.17: [乙平ニュース\(no.406\)](#)
- 12.7: [乙平ニュース\(no.405\)](#)
- 12.5: [京都版\(11/25,12/5\)](#)
- 12.3: [平新北・上京区版\(no.6\)](#)
- 12.2: [取組みのご案内](#)
- 11.21: [乙平ニュース\(no.404\)](#)
- 11.6: [乙平ニュース\(no.403\)](#)
- 11.2: [平新北・上京区版\(no.5\)](#)
- 10.29: [日本平和大会について](#)

「懸念能力」
 長射程ミサイルを保管する大型火薬庫を今後10年以内に、全国の130基地に整備する計画
 高自衛隊地方防衛部（青森県むつ市）と陸自大分分屯地（大分市）に大型の弾薬庫を2棟ずつ設
 置＋6棟（新潟分屯地、浜地方防衛部で調査）
 海上自衛隊の横須賀地方防衛部（神奈川県横浜青葉区）や舞鶴地方防衛部（京都府舞鶴市）などで
 弾薬庫の増設施設を整備



防衛省関係者が模型を使って説明した「陸自青森の戦ミサイ」の模型



最新防衛用高速列車（能力向上型）（イメージ）



○学習会資料(11月16日更新)

岸田政権の「敵基地攻撃」大軍拡・大增税路線にストップを

— 京都はどうなる～身近なところで何が起きているのか～ → [詳しくはこちら](#)

○学習会資料(8月3日更新)の全体をご希望の方はこちらまで → [その1](#)、[その2](#)、[その3](#)、[その4](#)、[その5](#)

○「ねっとわーく Kyoto ONLINE」の6月26日 最新の論考・ルポに片岡明理事長が投稿！

「戦争か平和か」日本の針路が問われている

憲法前文と9条の理念を活かした平和外交をする日本に変えよう → [詳しくはこちら](#)

[=>ページ先頭へ](#)

7月の「19行動」で片岡理事長が戦争拠点化する京都の現状を報告！

実は今日、イギリス空軍の空中給油機が京都市の上空を通過して
 いったのですが、そういう報道はあまりされていませんが、7月
 に入って、インド太平洋一帯で、NATO諸国未参加する軍事演習が



岸田政権の「敵基地攻撃」大軍拡・大增税路線にストップを 「安保3文書」で京都はどうなる～身近なところで何が起きているのか～

台湾有事」はあるのか「戦う覚悟」は？
日本防衛・安全保障なのか？日米同盟+QUAD+NATOの対中国包囲網への参戦
しかし、アメリカはイスラエル擁護を優先、ロシアを弱め、中国を抑える

国家総動員の戦争する国づくり

FMS方式で武器爆買い、疲弊する軍需産業には共同開発で武器輸出の道 最後は「工場」化
「国の防衛」というわりに国防の考えや用兵の思想もない、あるのは日米同盟
政府は「米国に見捨てられないように、戦争に巻き込まれないように」願うだけ？
ex.全土で低空飛行を「合意」～CV22「不時着水」～墜落～飛行停止～生産終了…どうする日本

「粘り強くたたかう自衛隊」

IAMD、EABO、ISRT、SiFとは・・・どこと、いつまで戦うのか、そのとき国民は
食糧・肥料・飼料・燃料などが枯渇して島国日本は滅ぶのか
わたしたちにとっての安全保障は？
「国民保護」戦争被害に補償はない・・・国が補償するとなれば戦争抑止にも

「強靱化」「持続性（継戦能力）」

戦争法は安保法制だけではない 身近な基地が出撃基地に、要塞化？
「反戦デモ」「報道」を敵視する自衛隊・・・住民を調査・監視、何を守るのか

自衛隊の実態・・・装備・弾薬より人（人的基盤の強化）

法定受託事務と地方自治・・・募集業務、重要土地等調査法などで住民情報提供！？
戦争協力事務をしない自治体を

戦争準備ではなく平和の創造を
ウクライナ、ガザ・・・

核兵器廃絶は現実的な課題
気候危機、水質汚染・・・PFAS、COD

物価高、コロナ、・・・何兆円も軍備にけるより安上がりな外交を
ASEANのような信頼醸成、予防外交、紛争解決へ

「どっちにもつかない日本」・・・憲法9条をもつ戦争被爆国という「ブランド」
全方位外交（非同盟）、核廃絶、戦争責任と戦後補償、武器輸出と海外派兵の禁止など

※関連の画像資料は「京都平和委員会」のHPに掲載（随時更新）しております。

シリーズ 強化される 米軍・自衛隊基地

京都平和委員会理事長

片岡 明さん



京都府北部の経ヶ岬（京丹後市）には米陸軍のXバンドレーダーの部隊が配備されています。これは、統合防衛ミサイル防衛（IAMD）の拠点として、敵基地攻撃能力を含む、攻撃目標の識別・部隊・戦力の派遣・攻撃の決断・命令・目標の破壊という「キルチェーン」が始まるミサイル迎撃と反撃のための基地と言われています。

すでに整備進む
海上自衛隊舞鶴基地（舞鶴市）は、海自イージス艦が巡航ミサイル「トマホーク」を

整備し、迎撃ミサイルSM3も積んで出撃していく艦隊が高まっています。すでに海自が、対外有償軍事援助（FMS）方式で雇った米軍属扱いのレイセオン社が、SM3を保管・整備する「USO Only Area（米軍専用区域）」が設置され、横須賀ノース・ドックから米軍のミサ

敵基地攻撃の「起点」

イル追跡艦が2カ月間、駐留しました。

福知山市では陸上自衛隊第7普通科連隊が米軍のレーダー基地を警護する任務を負っています。北部の自衛隊基地は日米一体化しています。

京都府南部には後方支援・兵站（へいたん）支援基地がたくさんあります。祝園（ほろその）弾薬庫（精華町）に長距離ミサイルなどが置かれるようになるのではないかと、3月には現地で学術会を開催しました。

「安保3文書」には地対艦ミサイルや離島防衛のミサイル部隊がつけられると書かれています。長距離化した大型ミサイルが弾薬庫に隠されるといふことにもなるのではと、周辺の住民から不安の声が上がっています。

名簿提供13万超
京都市は今年で5回目になる自衛隊募集対象者の名簿提供を行いました。毎年約2万5000人分を自衛隊に渡し、合計で13万1000人にもなる異常な状況です。パワハラやセクハラなど人権侵害が問題になり、自殺、中途退職や任意退去が続出する自衛隊に自治体が協力しているのかと、市に中止を要請しました。

平和委員会として京都の米軍・自衛隊基地が「安保3文書」で進めようとしている危険な基地強化の実態を住民に知らせるとりくみを強めていきたい。



経ヶ岬に配備された米陸軍のXバンドレーダー（京都府京丹後市）（京都平和委員会提供）

2023年1月15日しんぶん赤旗より

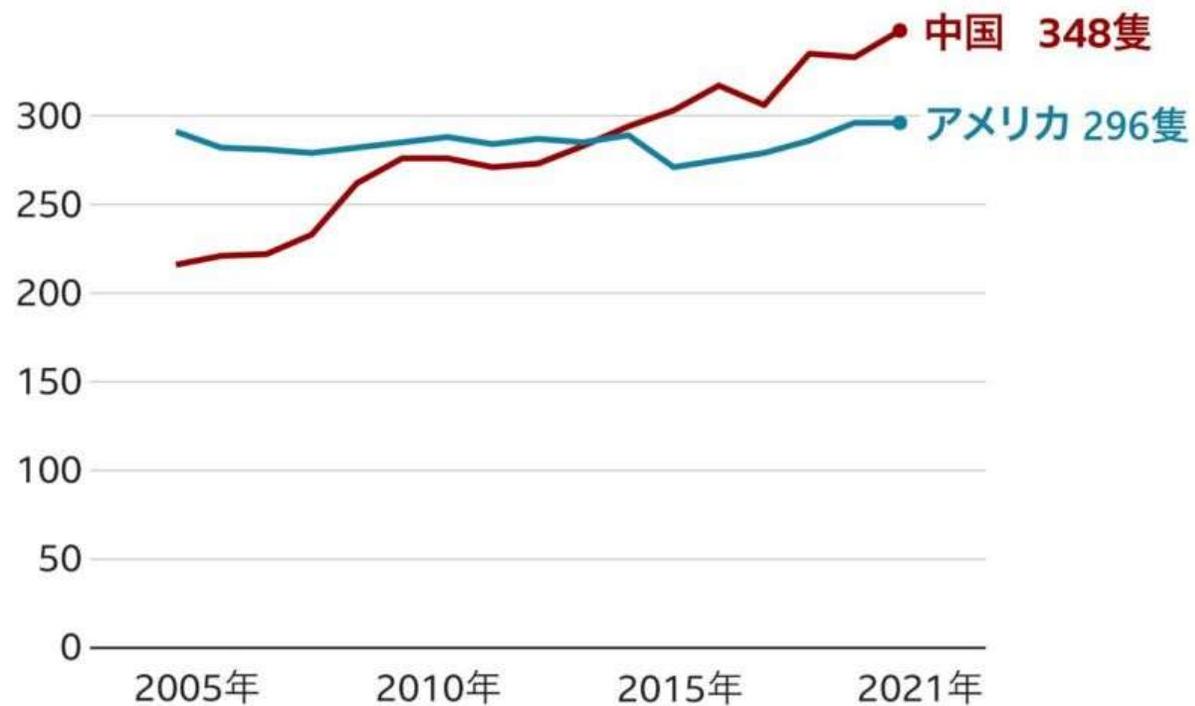
日米共同声明

- 「インド太平洋は、中国によるルールに基づく国際秩序と整合しない行動から北朝鮮による挑発行為に至るまで、増大する挑戦に直面している」
- 「日本の果敢なリーダーシップを称賛した」
- 「日本によるこれらの取り組みは、インド太平洋及び国際社会全体の安全保障を強化し、21世紀に向けて日米関係を現代化する」



中国はアメリカを超えて 世界一の海軍力を保有している

2005年以降の米中の主要戦艦保有数の推移

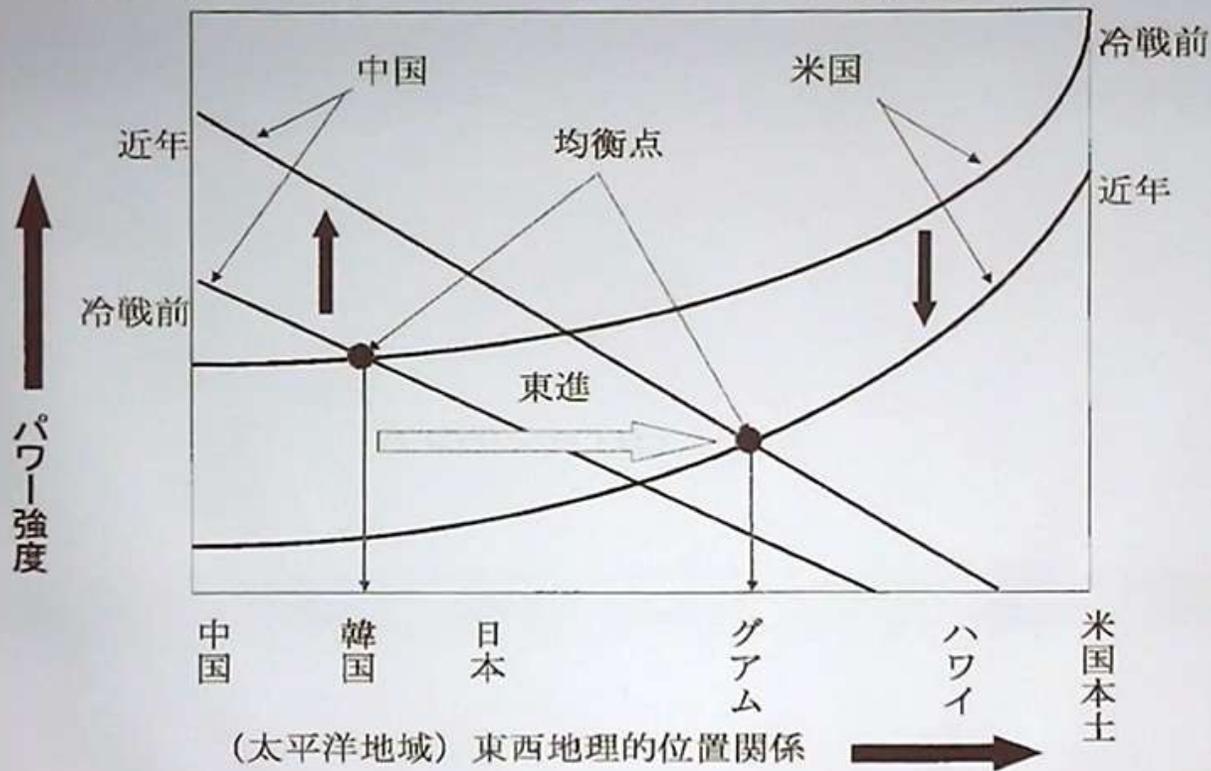


出典:アメリカ議会調査局



米軍は接近阻止／領域拒否（以下「A2/AD」(Anti Access/Area Denial) という。）への対応を迫られている状況

米中パワーバランスの東進イメージ



<経過のおさらい>

イージスアショア導入断念（2020年6月）

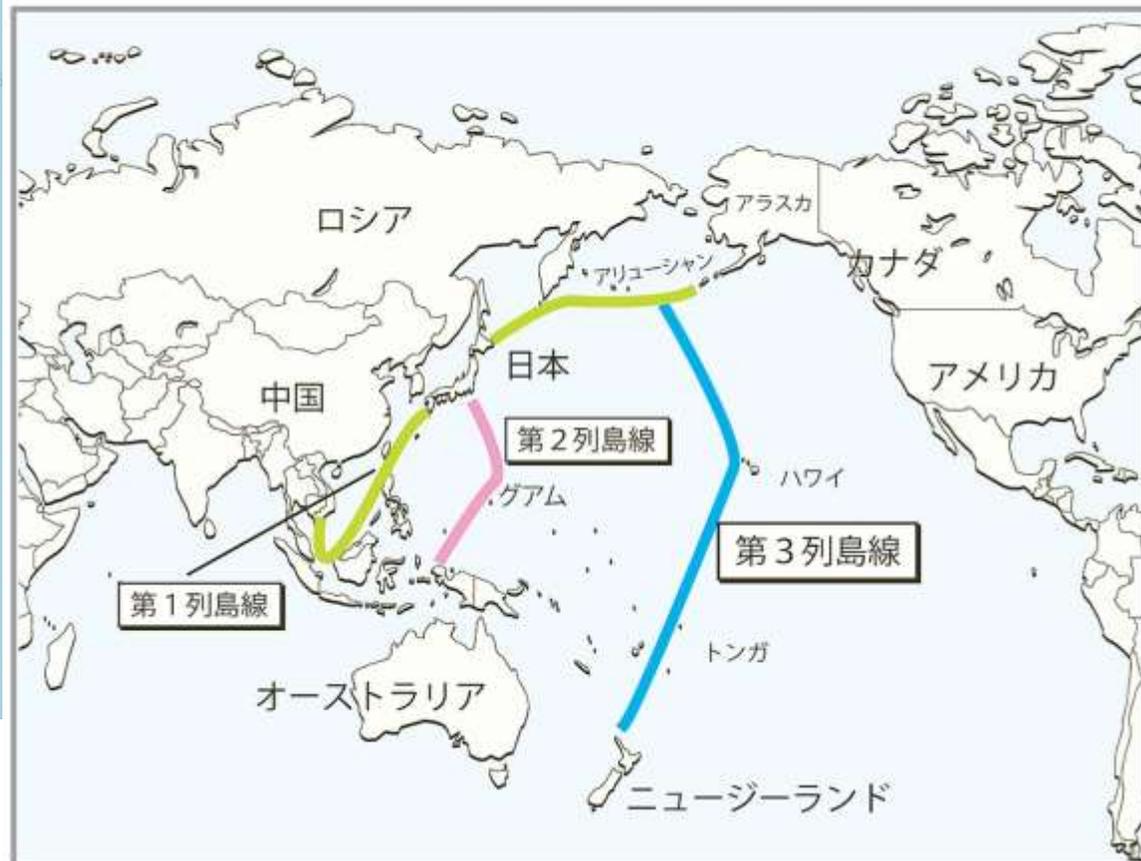
⇒代替案検討で「敵基地攻撃」（この時点ではIAMDではなく「総合ミサイル防空」）

⇒アーミテージ第5次報告（2020年12月）で「反撃能力を」

⇒2021年3月米上院軍事委員会公聴会で米インド太平洋軍司令が「6年以内に中国の武力侵攻」と証言（2027年を節とする根拠・・・6月に統合参謀本部議長は否定）



中国の軍事防衛ライン「第1・2・3列島線」



⇒2022年1月「2+2」で「台湾有事」、極超音速ミサイル
共同開発、先に在日米軍駐留経費負担（「同盟強靱化予算」）
増額合意、

5月4日日米防衛相会談では「敵基地攻撃能力」検討は歓迎、
「核共有」論は抑える、

5月23日日米首脳会談で「戦略を整合」、

7月自民党公約（4月自民党提言）、

8月にペロシ米下院議長が訪台、

9月ハリス副大統領が「国葬」で来日（韓国へも）、

マルチドメインやEABOの共同訓練や統合演習がつづく（OS
（オリエント・シールド）、RD（レゾリュート・ドラゴン）、
KS（キーンソード）、YS（ヤマサクラ）、



オリエンシールド演習の終わりに、奄美駐屯地で陸自隊員にハイマースについて説明する米陸軍少佐（右）ら。

米軍画像サイトDVIDSの解説によれば、このハイマースは第1マルチドメインタスクフォース第3砲兵連隊第5大隊所属だ。

米軍画像サイトDVIDS <https://www.dvidshub.net/image/8050252/1st-mdtf-soldiers-and-jgsdf-service-members-conclude-orient-shield-2023-with-himars-static-display>より引用

the 1st Multi-Domain Task Force (1st MDTF) long-range fires battalion, 5th Battalion, 3rd Field Artillery Regiment (5-3 LRFB), deployed the Long-Range Hypersonic Weapon (LRHW) system over 3,100 miles



(10月米国バイデン大統領が「国家安全保障戦略」発表、
11月14日、米中の首脳会談が対面…これは「中国とは戦争しない」というもの)



11月22日有識者会議報告、
12月「3文書」閣議決定、

2023年1月CSISでシミュレーション（日本の協力なしでは中国に負ける）、

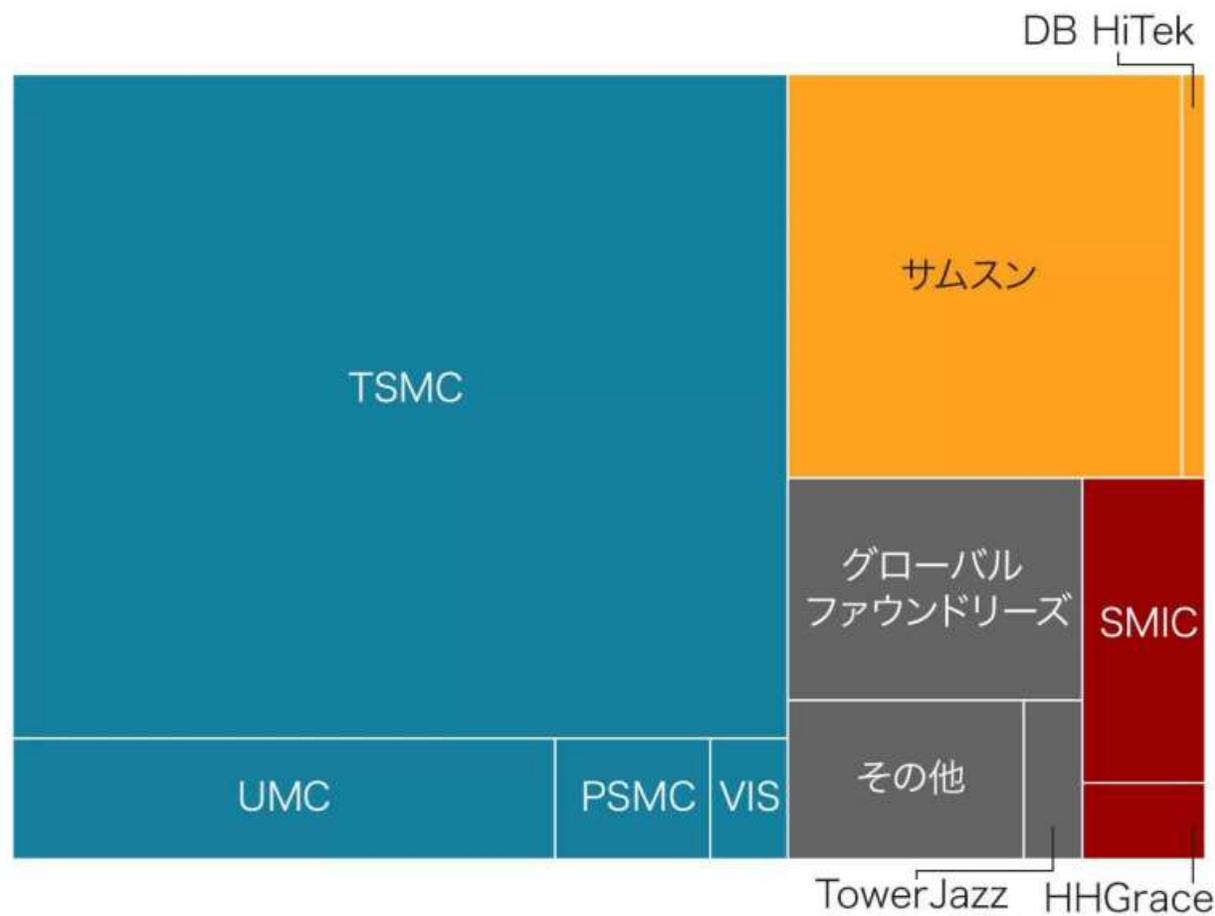
1月「（外交防衛も経済も）2+2」、防衛相会議、首脳会談

- 閣議決定だけで日本の平和主義を放棄…憲法蹂躪

台湾はコンピューター・チップ生産で 世界を席巻している

世界のファウンドリ市場シェア(2020年、国別・企業別)

■ 台湾 65% ■ 韓国 18% ■ 中国 5% ■ その他 12%

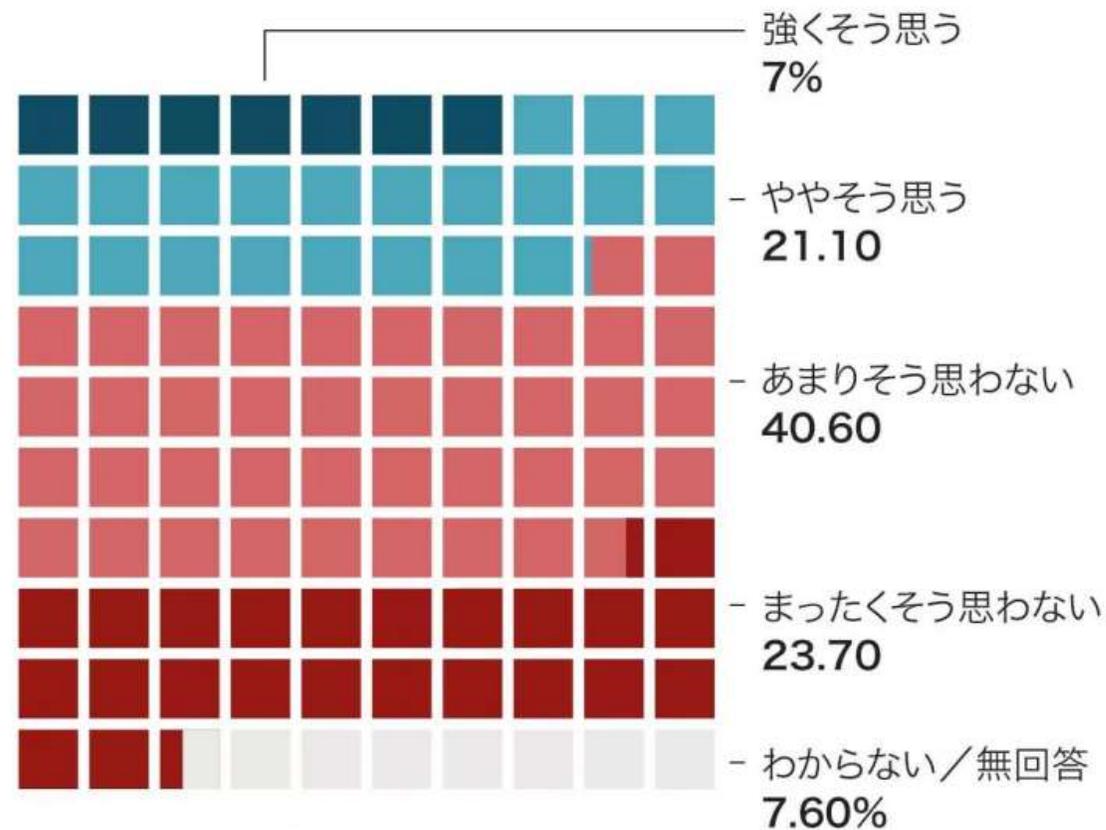


出典:トレンドフォース 2021年版



台湾人の多くは 軍事衝突は起きないと考えている

「いずれ中国と台湾の間で戦争が起こる」と思うか
との質問に対する回答

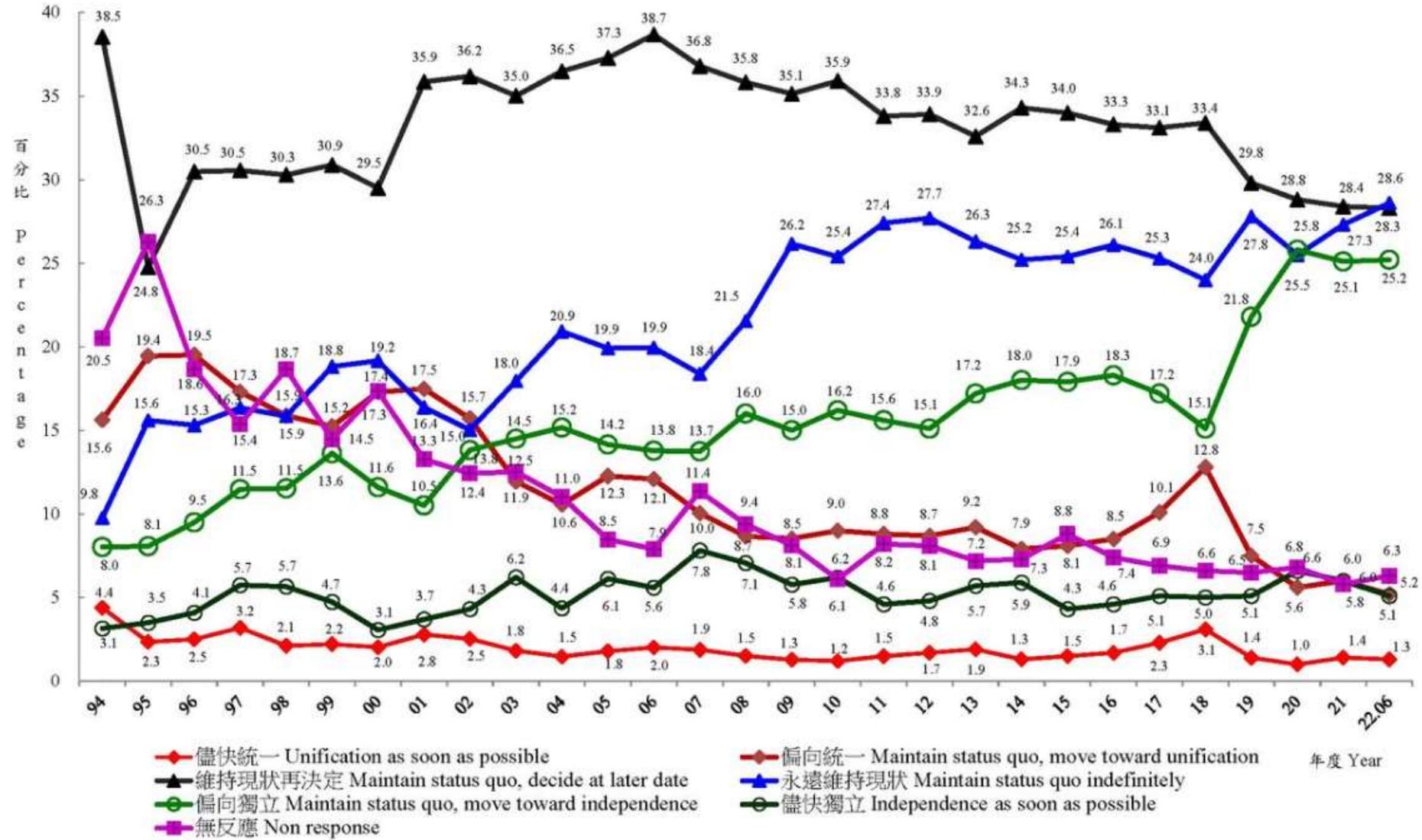


2021年10月に調査を実施

出典:台湾民意基金会



Changes in the Unification - Independence Stances of Taiwanese
as Tracked in Surveys by Election Study Center, NCCU (1994~2022.06)

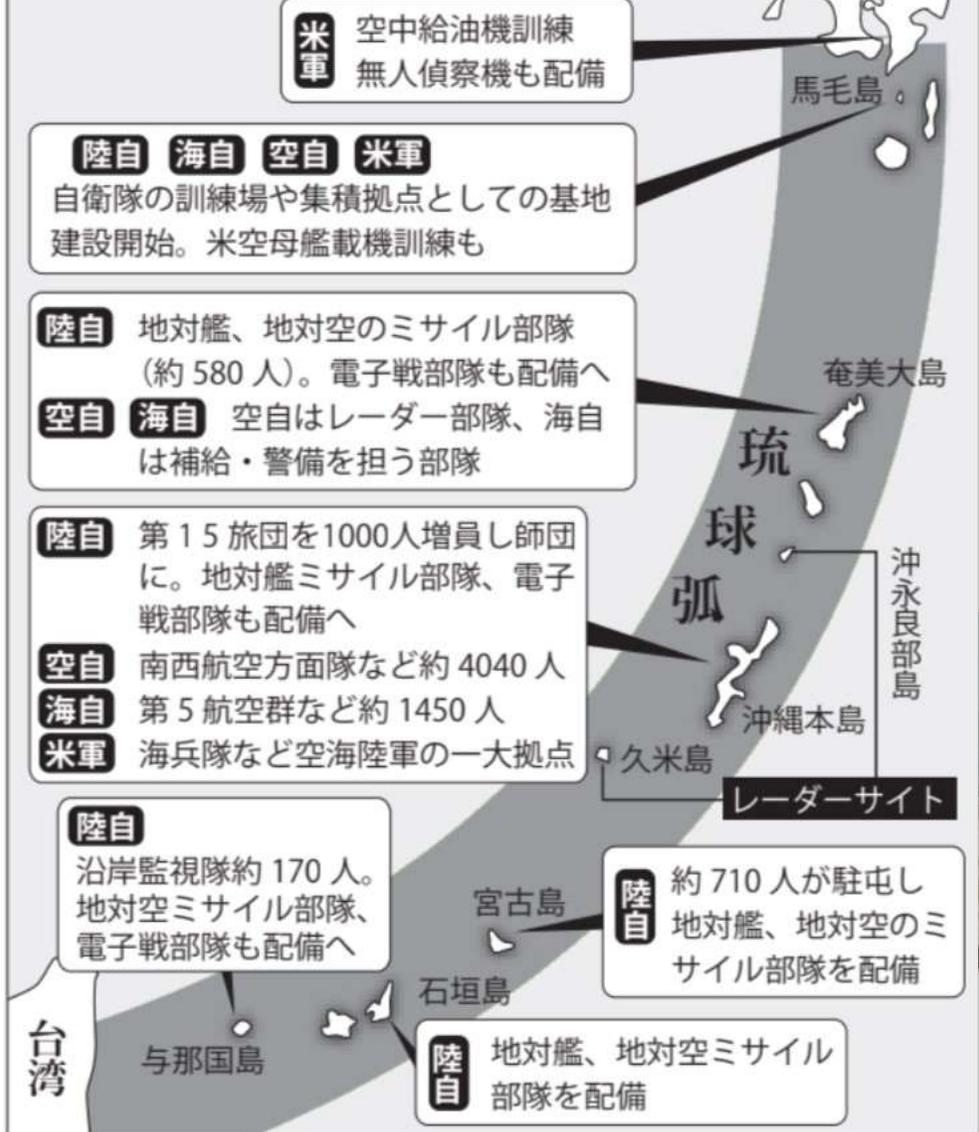


國立政治大學選舉研究中心製

【図表2】台湾における独立と統一に関するスタンスの変化（1994～2022年）。

出所：台湾政治大学選挙研究センター

米戦略に呼応して 琉球弧に配備されている自衛隊



20220616 VS22 パラオで15日PAC2実弾射撃とF35Aを記者公開

The Patriot system is already a combat-proven system, but this exercise saw the first operational use of a new capability to target and engage threats using radar data from a U.S. Air Force F-35A aircraft. The ability to extend the range that Patriot can detect and engage UASs, cruise missiles, and ballistic missiles provides an entirely new capability to the joint force and further increases our ability to defend a free and open Indo-Pacific.



石垣島で地上戦 そのとき島は、住民は？

自衛隊は島が侵攻されたら一旦退き、奪回する方針で、米軍と共同訓練中



南西諸島の島（石垣島？）を占領した外国軍（赤）を自衛隊（青）が攻撃している図（防衛省のパンフより）

日中両国間の諸問題について外交的解決を求める意見書

良好な国際親善友好交流を行っております。

しかしながら、近年、国内外で台湾有事が叫ばれ不測の事態が大変憂慮されています。現在、政府は安保関連3文書に基づいて抑止力強化を図り、県内では軍備強化、拡大が急速に進められています。先の沖縄戦で沖縄本島は全土が焦土化し、県民の4人に1人が犠牲となる極めて悲惨な体験をしました。

台湾有事で国境の島に緊張が増し、本市を含め県内の島々が再び戦場になるのではないかと、大変不安と心配で市民に動揺が広がっています。特に、本市は有事が拡大する事態になれば最前線となる恐れがあり、市民の生命、身体、財産に重大な危険が及ぶことを大変、憂慮いたします。

平和を願い希求することは、誰しも共有する人類普遍のものであります。政府におきましては近隣国との関係について、今一度、原点に立ち返り平和友好関係を堅持していく冷静な対応が、最も重要だと痛感致します。

つきましては、本市議会は日中両国の諸問題解決に向けた1972年の「日中共同声明」、1978年「日中平和友好条約」を尊重するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月20日

石垣市議会

宛先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、外務大臣

石垣駐屯地(仮称)の開設について

令和5年2月
防衛省

全般

- 部隊配備に必要な施設整備が整うことから、令和5年3月中旬頃、石垣駐屯地(仮称)を開設する予定としています。
- 石垣駐屯地(仮称)の開設に伴い、警備部隊、中距離地对空誘導弾を有する高射部隊及び地对艦誘導弾を有する地对艦ミサイル部隊等(約570名)を配置する予定です。

部隊の編成



駐屯地開設準備

- 駐屯地開設に先立って、約570名の人員、約200台の車両等が島内にて移動します。
- 車両等の移動に当たっては、市民の皆様に影響が生じないように、安全確保に十分留意して開設準備を進めてまいります。

九州では防衛力の整備が着々と進む

陸自 (佐賀市)
輸送機オスプレイ配備
2025年7月



陸自 (長崎・竹松駐屯地)
水陸機動団増強
23年度



基地整備 (鹿児島・馬毛島)
自衛隊の訓練拠点に。米軍機も
27年頃

陸自 (大分・湯布院駐屯地)
地对艦ミサイル連隊新設
24年度末



空自 (宮崎・新田原基地)
臨時F35B飛行隊創設
24年度

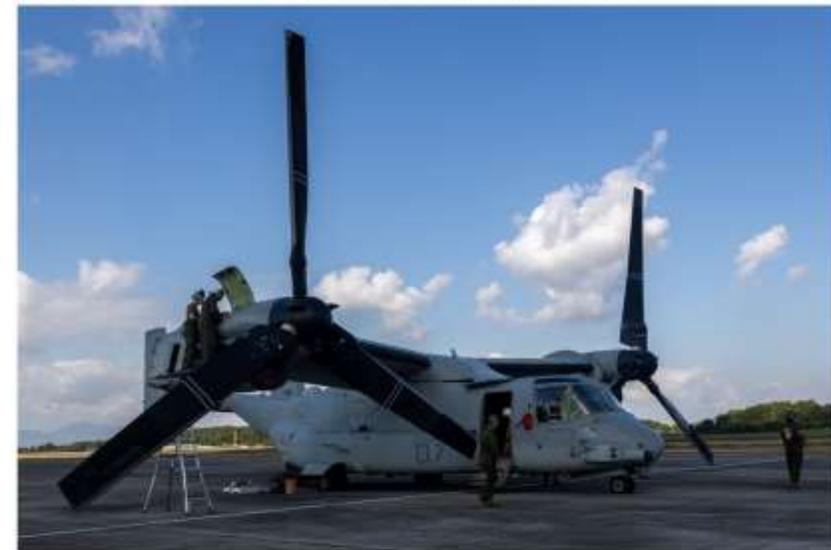


共同部隊 (鹿児島・奄美大島)
海上輸送群の配置構想



機動舟艇(イメージ、防衛省提供)

Resolute Dragon 23 | VMM-262 and JGSDF Aircraft Maintenance [Image 2 of 10]



KUMAMOTO, JAPAN

10.17.2023

Resolute Dragon 23 | VMM-262 and JGSDF Aircraft Maintenance [Image 6 of 10]



KUMAMOTO, JAPAN

10.17.2023



見過ごされている問い

- 目指すべき「安全保障」とは何か？ **限られた国力**を軍事力的安全保障に過度に注力することで、**その分犠牲にされる安全保障**があるのではないか？
- 「**誰の**」安全なのか？ **国家**の安全保障と**市民**の安全保障は同義ではない。
- 日本も「**厳しい安全保障環境**」と表現される**国際環境**を構成する**プレイヤー**である。「**厳しい安全保障環境**」を所与の前提に、生き延びるための手段を取り続けることが、**自らが生きる安全保障環境に負の影響**を与えることも考えるべきではないか？



講演 三牧聖子

9条 京都のつどい2023 ～講演 & 全体会～
三牧聖子さん講演会より (2023/9/30)

「抑止」とは何なのか？

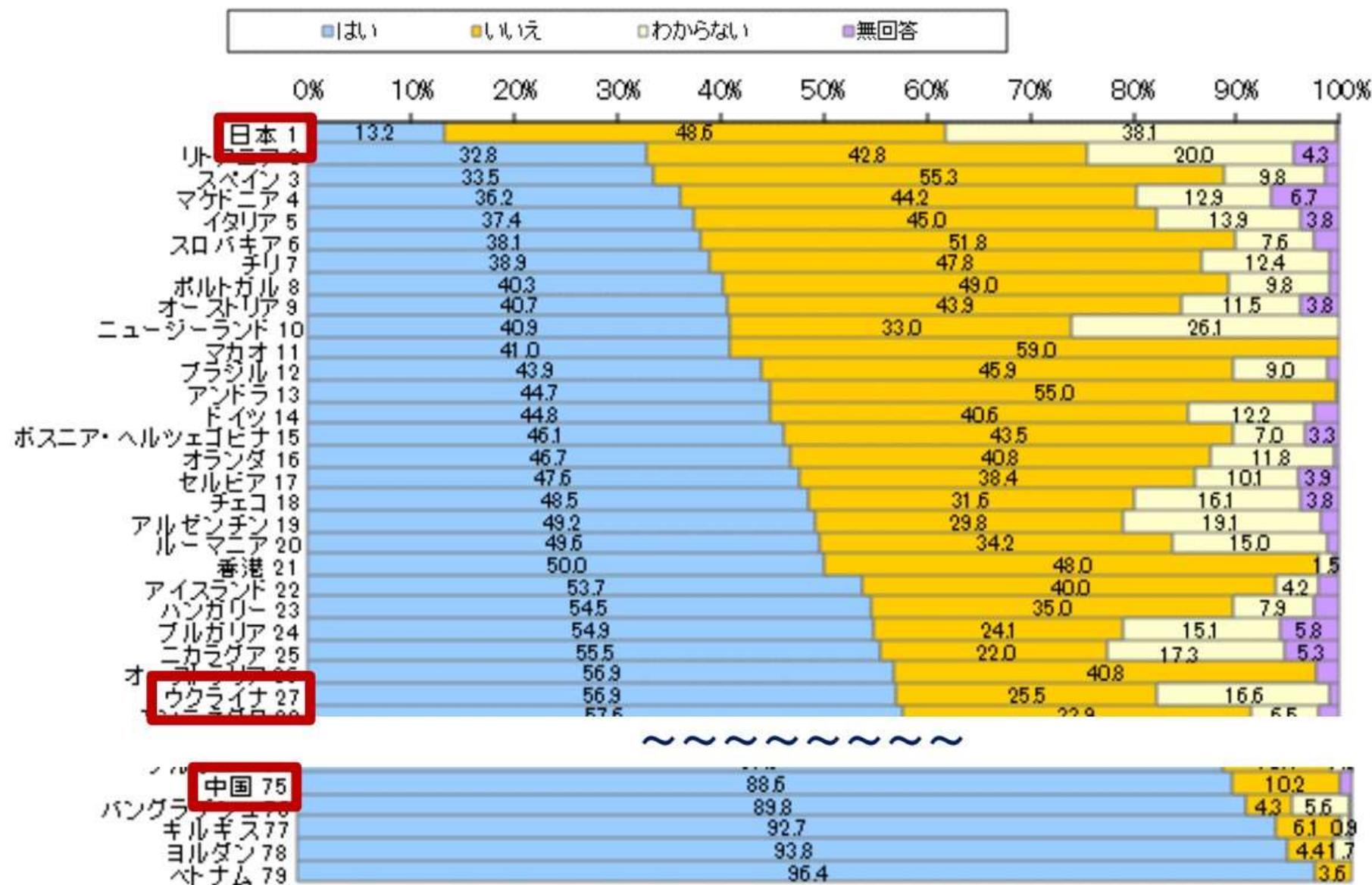
- 2023年8月8日 麻生副総裁の「戦う覚悟」発言

台湾海峡の平和と安定は日本はもとより、国際社会の安定にとっても重要だ。その重要性は、世界各国の共通の認識になりつつある...今ほど日本、台湾、アメリカをはじめとした有志の国々に**非常に強い抑止力**を機能させる覚悟が求められている時代はないのではないかと。戦う覚悟だ。いざとなったら、**台湾の防衛のために防衛力を使うという明確な意思を相手に伝えることが抑止力になる** (台湾国際フォーラムの講演で)

— 「政府内部で調整した発言」 (鈴木馨祐政調副会長)

世界価値観調査 (2017~2020) より

もし戦争が起こったら国のために戦うか (2017年~20年)



あらたな戦前になるのか？

防衛協力の指針（ガイドライン）が上

1907年『帝国国防方針』

「日本帝国ノ国防方針」…「国家安全保障戦略」

「帝国軍ノ用兵綱領」…「国家防衛戦略」・・・前は「防衛計画の大綱」

「国防ニ要スル兵力」…「防衛力整備計画」

河野克俊前統合幕僚長「専守防衛整理の契機に」

2022/12/16 17:27

政治政策 安全保障政策



「反撃能力」という言葉を使っているが、自衛隊が攻撃力を持つことに初めて踏み込んだ。大きな一歩だ。これまでは「矛」の役割は米軍に任せ、自衛隊は「盾」に徹してきた。しかし、米国の国力は相対的に落ちている。厳しい安全保障環境の中で自衛隊が役割を拡大することは、日米同盟の強化にもつながる。

反撃能力の行使は日米共同のオペレーションになる。日本は長射程の河野克俊前統合幕僚長 ミサイルを持つが、それだけでは完結しない。目標情報の把握や打撃効果の判定なども必要だが、その部分の能力は不十分だ。米軍との密接な連携がカギを握る。「盾」も「矛」も日米共同で行う時代になった。

「統合司令部」の常設も決まった。これまでは弾道ミサイル防衛、離島防衛、大規模災害などのたびに統合任務部隊を編成する態勢だった。指揮官もその都度任命される。それより、指揮官やスタッフ同士が常に顔を突き合わせて統合作戦を練る態勢の方が効率は高まる。

ほかにも、継戦能力や防衛産業の強化なども打ち出されている。今後5年間の防衛費を43兆円としたことは、同盟国などへの前向きなメッセージになるだろう。各方面に目配りが利いた内容だと評価できる。

あえていうなら、「専守防衛」は今回も維持された。日本が国際紛争を解決する手段として武力を行使しないのは当然だが、攻められた後の戦術面にまで制約を課するのはどうなのか。現行憲法でさえそこまでは要求していないと思う。攻撃力の保有に踏み切ったこの機会に、専守防衛の概念整理もしてもらいたかった。（談）



2022年12月14日しんぶん赤旗より

「国家安全保障戦略」

- (1) 「自由で開かれたインド太平洋」を強化するための外交の展開（同盟国・同土国との連携）
- (2) 「反撃能力」（敵基地攻撃能力）の保有
- (3) 防衛力の抜本強化、総合的な防衛体制の強化…国家総動員体制
- (4) 装備移転3原則や運用指針等の見直しの検討（武器輸出大幅解禁、官民学の武器開発・生産）
- (5) 能動的サイバー防御の導入
- (6) 海上保安能力の大幅な強化と体制の補充（海保を自衛隊の指揮下に）
- (7) 経済安全保障の促進…経済安全保障、宇宙、原発などに関して日米の「優位性」を確保し、サプライチェーン（供給網）の強化を図る…半導体などの重要技術の保護、育成

「軍需産業支援法案」が4月27日の衆院安全保障委員会で可決。同法案は、国が採算のとれない軍事企業の製造施設を買い取り、設備投資や維持管理の負担せずに経営できるようにするもので、事実上の『工場（こうしょう）』の復活に

2023年度のFMS契約額は、前年度予算の3797億円から約4倍に▽長距離巡航ミサイル・トマホークの取得2113億円▽E2D早期警戒機（5機）の取得1941億円▽F35B戦闘機（8機）の取得1435億円▽イージス・システム構成部品などの取得1252億円▽F15戦闘機（20機）能力向上1135億円▽トマホーク発射機能の付加の改修用器材の取得など1104億円▽F35A戦闘機の取得（8機）1069億円。

国内軍需産業には防衛省は、国産の長距離ミサイルとして▽「12式地对艦誘導弾能力向上型」の開発・量産▽「島しょ防衛用高速滑空弾」の量産▽「潜水艦発射型誘導弾」の開発一で三菱重工と契約。契約額は総額で3781億円に。



防衛産業への支援を強化する法案の概要

サプライチェーン調査

防衛省に調査権限。企業には回答の努力義務



包括的な財政支援

基盤強化

製造工程の効率化などに取り組む企業に経費を支給

装備移転支援

輸出に向けた装備品の仕様・性能変更の経費を交付

資金貸し付け

日本政策金融公庫による貸し付け



支援しても事業継続が困難な場合

製造施設を国有化

製造施設を国が買い取り、生産は企業に委託

「国家防衛戦略」

- 敵基地攻撃と「防空」を一体化させた米軍のシステム「統合防空ミサイル防衛(IAMD)」の導入
- その中で「反撃能力」(敵基地攻撃能力)を位置付け・・・長距離巡航ミサイル・トマホーク導入を検討(400発購入→「JMEWS(Joint Multiple Effects Warhead System)」(統合複合作用弾頭システム)をつけた対地攻撃型の「ブロックVb」200発(2021年採用)と2006年モデルの「ブロックIV」200発)

戦術トマホーク武器管制システム(TTWCS)は14隻分？



トマホーク巡航ミサイル



出典: 米科学者連盟、レイセオン、米軍

「防衛力整備計画」

- 12式地对艦誘導弾能力向上型の開発
- イージス・システム搭載艦などの兵器導入（イージスアショアの代替？）
- サイバー防御として、攻撃を受けていない段階で相手サーバーの侵入などを行う「能動的サイバー防御」沖縄県を含む南西地域を中心に15旅団の師団化…海兵隊は「沿岸連隊(MLR)」創設（EABO、Stand-in Forces）
- 大軍拡：陸自の統合機動展開、統合司令部常設、地下化で「強靱化」、弾薬・燃料備蓄など継戦能力強化「持続性」（弾薬庫90+40棟増設）、医療機能向上（輸血用血液製剤の独自製造）、民間空港・港湾の使用、スタンドオフミサイルとISRT・共同交戦能力(CEC)、戦闘機、機動展開能力強化、マルチドメイン（MDTF）…宇宙・サイバー・電磁波も、一方で「着上陸侵攻への備え」は最小限に
- 「台湾有事」を想定した共同作戦計画、米中距離ミサイルLRHWの配備（これは先送り？）・・・
- しかし、自衛隊が欲しいのは「人」



USAF Photo

www.c4i.net



■「攻撃」「防御」を一体化した米軍「統合防空ミサイル防衛」(IAMD)の構造

ミサイル・サイト、飛行場、指揮統制機能、インフラストラクチャーへの攻撃
(相手から攻撃を受ける前と後)

攻勢対航空 (OCA)

- 攻撃作戦
- SEAD (敵防空網制圧=レーダー網などの無力化)
- (味方) 戦闘機の護衛
- (敵) 戦闘機の一掃

防勢対航空 (DCA)

- 積極的防空・ミサイル防衛
- 消極的防空・ミサイル防衛
- 国土防衛
- 地球規模のミサイル防衛
- 地球規模の打撃
- 対ロケット・砲撃・迫撃

IAMD

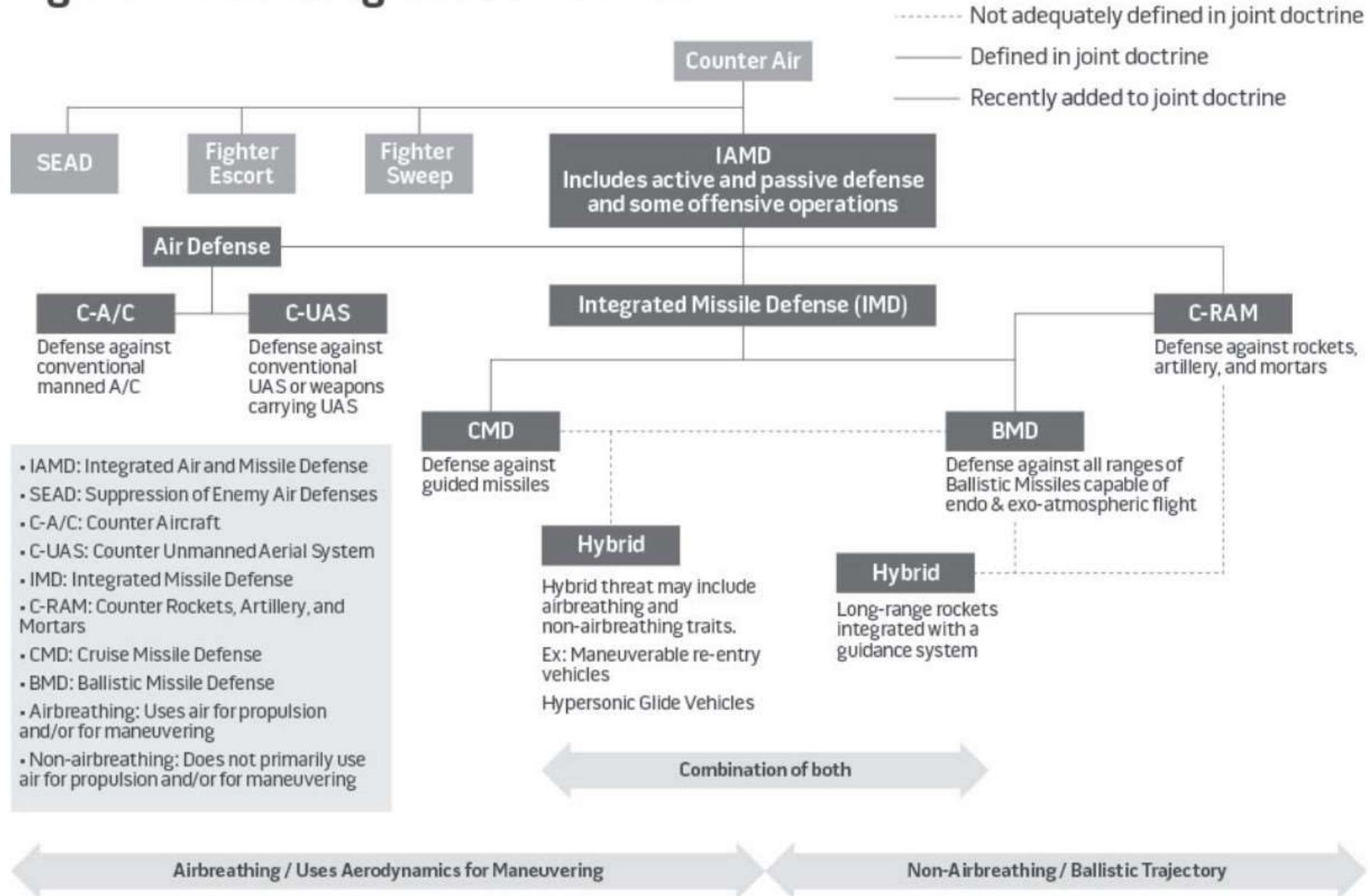
NATO (北大西洋条約機構)

INDOPACOM (インド太平洋軍)

「敵の航空・ミサイル能力から悪影響を及ぼし得る力を無効にすることで米本土と米国の利益を防衛し、統合部隊を防衛し、行動の自由を可能にするための諸能力と重層的な諸作戦の統合」
(IAMDの定義 米統合参謀本部ドクトリンから)

↑
日本も参加？

Figure 1. Subcategories of Threats



図一1：経空脅威と対象作戦（“Joint Integrated Air and Missile Defense” から）